

JELA NEWS

ジェラニュース 第57号

2022年4月15日 発行

発行責任者 渡辺 薫

一般財団法人 JELA 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-26 TEL.03-3447-1521 FAX.03-3447-1523 jela@jela.or.jp www.jela.or.jp

難民支援事業 / 世界の子ども支援事業 / 奉仕者育成事業 / 緊急災害支援事業

私たちは、キリストの愛をもって、日本と世界の助けを必要とする人びとに仕えます

お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渇いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。はっきり言うておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。(マタイによる福音書25章35～36、40節)



この夏、新しい国内ワークキャンプを実施します！

この号にはこんな記事が……奉仕者育成：JELA初！国内ワークキャンプの案内と募集要項（P2～3）／世界の子ども支援：初のオンライン・スタディーツアーを実施～インド・コルカタ支援地域の理解深める（P4～5）／パナソニックからJELAのカンボジア支援に1050台のソーラーランタン（P5）／手作りマスク支援報告（P5）／難民支援：株式会社LIFULLよりJELAハウスに助成金（P6）／「難民のためのJELAハウスに感謝」宮原信孝（P6）／オンライン・チャリティコンサート2021～22報告（P7）／リラ・プレカリア「詩編との出会い」の動画撮影を実施（P7）／2021年度寄付金のご報告（P8）／寄付者一覧（P8）／編集後記（P8）

今夏、新しく国内ワークキャンプを実施 アジア学院を舞台に、聖書や英語に触れるプログラムです！

JELAには、アメリカ、インド、カンボジアなどを舞台とした「ワークキャンプ」と呼ばれるボランティア海外派遣プログラムがあります。このプログラムは、2001年から奉仕者育成を目的とした事業として始まり、2020年までほぼ毎年同キャンプを開催してきました。これまでに延べ300名の方に参加いただいています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年春を最後に、ワークキャンプを実施することができない状況が続いていましたが、JELAではコロナ禍でもキャンプを実施することはできないか、内外からの知恵を借りて検討を重ねてきました。

その結果、栃木・那須塩原市にある農村指導者養成を目的としたキリスト教主義の専門学校「アジア学院（ARI）」でキャンプができないかというアイディアが出ました。企画会議や現地視察などを経て、2022年の夏に新しい国内ボランティア・ワークキャンプをご案内できることになりました。アジア学院は、世界各国から農村指導者研修生を受け入れていて、こ



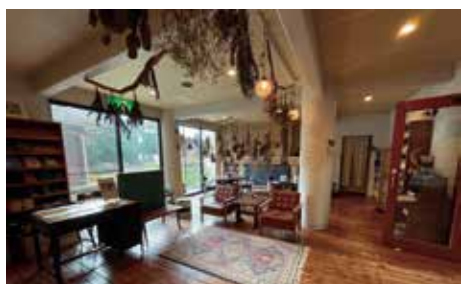
有機農業体験を行うJELAスタッフ

のプログラムに賛同したJELAは、2003年から毎年、外国人研修生への奨学金支援を行っています。このようにアジア学院は、JELAにとって国内の貴重なパートナー団体なので、JELA初の国内ワークキャンプの実施場所として最適であると考えました。



参加者の皆さんは、アジア学院のテーマ「食べ物といのち（Food Life）」「共生（Community Life）」に基づく労働（ボランティア、奉仕を含む）・生活を体験することになります。また、アジア学院での生活を通して、神さまと出会う（知る）キャンプでもあります。クリスチャンの方の成長はもちろん、キリスト教に興味のある方が神さまを知り、出会う場となることも期待しています。

アジア学院には複数の国からの留学



宿泊予定のゲストハウス

生が有機農業などを学んでいます。その関係で施設内では英語が共通言語として使われています。このワークキャンプに参加し、英会話が日常である環境に身を置くことで、語学面の成長も期待できます。

聖書から神さまの秩序を学びながら、自然の中で農業体験をし、他国からの留学生とともに働くことで心身ともに成長するプログラムを目指しています。

アジア学院が提供する独自のワーク・プログラムとして、フード・ライフ・ワーク（Food Life Work）とファーム・ライフ・ワーク（Farm Life Work）があり、有機栽培、地産地産や家畜飼育（豚、鳥、やぎなど）などについて学べ、さまざまな種類の活動を体験できます。このような自然の中での体験を通して、神さまに生かされていることを一人一人が感じるようになるでしょう。

中高生の皆さん、今年の夏休みはJELAとアジア学院のワークキャンプにぜひご参加ください！



アジア学院食堂から見た朝焼け

ウクライナ紛争に苦しむ人々のために

この度の紛争によって、多くの命が失われ、多くの人が苦しみ悲しんでいます。両国の死傷者の家族、住む場所を失ったウクライナの人々、ヘイトスピーチに苦しむ在外ロシア人に神の守りと必要を満たす助け手の存在がありますように。

そのような祈りのもと、JELAはこの度自社ビルの1階ホールを地域の人々に開放して「ウクライナ紛争に苦しむ人々のために祈る会」を企画しました。ゲストスピーカーにウクライナ国境で避難民への

支援活動を行っている内村伸之牧師（イタリア・ミラノ賛美協会）を招き、現地で何が起きているのか、何が必要とされているのかをお話いただきます。

会の後半には、パストラル・ハーブの第一人者キャロル・サック宣教師が、ハーブの音色とともに静まり祈る時間へと私たちを導きます。

平日ランチタイムを利用する45分程度の短いイベントではありますが、ご近隣の皆さまはぜひお足運びください。この祈りの会の模様は、後日期間を限定して動画でも配信する予定です。

日時：2022年4月25日(月)
12:00～12:45
場所：東京都渋谷区恵比寿1-20-26
JELA ミッションセンター
1階ホール
定員：30名程度（要申込）



キャロル宣教師

お申込はこちらから



または
JELAウェブサイトへ

JELA English Bible & Work Camp (イングリッシュ・バイブル&ワーク・キャンプ)

2022年度 募集要項

【日程】2022年7月31日(日)～8月6日(土) 6泊7日

【場所】学校法人アジア学院（ARI）
アジア農村指導者養成専門学校
(栃木県那須塩原市槻沢442-1)

【対象】中学生・高校生
(健康に自信のある方。炎天下の農作業があります)

【募集人数】5名～10名程度
(人数調整のため選考があります)

【テーマ】「神さまの秩序ー創世記よりー」

【内容】農作業やバイブルスタディーを通じての学び、ARIの活動支援と人的な交流などを予定しています。ARIには複数の国から外国人留学生が学びに来ており、施設内の公用語は英語となります。JELAスタッフがコミュニケーションを助けますが、各プログラムに積極的に参加する姿勢が求められます。

【参加費】5万円
※「友だち割引」あり。2名以上の申込みで1人あたり5千円割引します。

※ボランティア保険、現地（ARI）までの交通費については、上記の参加費とは別に全額個人負担となります。

【集合場所】JR東京駅（新幹線）、JR那須塩原駅（新幹線・在来線）、現地集合などを予定。

【申込方法】JELAホームページ（www.jela.or.jp）に掲載の「申込書」をダウンロードして、必要事項を記入の上、JELAまでご郵送ください。

【申込締切】2022年6月15日(水) 消印有効
(6月末日までに参加の可否をお知らせします)

【オリエンテーション】参加決定者を対象に、7月上旬に実施します。※参加者のご都合により日程等を変更する場合があります。

【問い合わせ・申込先】
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-26
JELA ワークキャンプ 係

Tel: 03-3447-1521 Email: jela@jela.or.jp

最新情報や
申込書ダウンロードは
Web検索またはQRコードから

JELA ワークキャンプ



■ キャンプ説明会について

2022年4月下旬・5月下旬の計2回、応募をご検討中の方々を対象とした説明会をオンラインで実施します。詳しくはJELAホームページで告知いたします。ご興味のある方はぜひキャンプ説明会にご参加ください。

■ 参加にあたっての注意事項

- (A) 行程・プログラムは、現地の受け入れ状況、天候、その他の都合により変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- (B) ワークキャンプご参加の際、保険証をかならずご持参ください。
- (C) 万一の怪我、病気、不慮の災害・事故に備え、「ボランティア保険」に必ずご加入いただき、安全管理は参加者の責任において行ってください。
- (D) 新型コロナウイルス感染症対策を講じての実施となります。集合時に抗原検査を実施する予定です。JELA・ARIスタッフがキャンプ参加者の健康状態を確認し、キャンプへの参加が難しいと判断した場合は、医療機関や自宅への移動をお願いします。途中でキャンプ参加を中止した場合でも参加費の返金はできません。
- (E) 各種予防接種に関しては個人の判断と責任になりますので、各自で医師に相談・確認してください。

■ 守っていただくこと

- (A) 期間中、協調性を持って同行スタッフの指示に従い、行動、健康に関して自己管理してください。
- (B) 参加者説明会に必ず参加してください。
- (C) 参加費用は、JELA広報に協力することでの特別価格となっています。JELAの広報活動（「JELA NEWS」「JELAホームページ」「JELA NEWSブログ」「SNS(Facebook、Twitter、Instagram)」）に感想文やキャンプの写真などを掲載します。キャンプ参加後5年経過した場合に限り、しかるべき理由がある方は申し出により名前の変更が可能です。キャンプから帰宅後10日以内に報告書を作成してJELAに提出してください（提出方法：電子メール）。

初のオンライン・スタディーツアーを実施 インド・コルカタの支援地域の理解深める



LWSITによる団体紹介



CCI施設内を案内する現地スタッフ



CCIでの体験を語る少女とその家族



ヨガセッションの様子



空手を披露する子どもたち



ダンスを披露する子どもたち

返りを兼ねた交流の時間で始まり、インドを紹介するビデオ、ある紛争地域でLWSITが長年取り組んできた平和促進プロジェクトを紹介するビデオが上映されました。また、現地のコミュニティグループによる伝統的なダンスが披露され、CCIの子どもたちと一緒にヨガを体験する時間も持ちました。LWSITが過去に支援した親子へのインタビューは、LWSITの働き、JELAのサポートが大きな意味を持つことを知る時間となりました。

中でも、コミュニティグループによるダンスパフォーマンスでは、メンバーが色鮮やかな衣装を着こなし、インド8州を代表する伝統的な音楽とキレのある踊りを披露してくれました。衣装の違いや踊りの雰囲気の違いから、インドという多民族・多文化が共存する国の魅力を感じることができました。

2日間を通して特に印象に残ったのが、ソロダンスを披露してくれたとある少女でした。長年CCIに通っているという彼女のダンスに、JELAスタッ

フの一人がどこか懐かしさを感じると言ったのですが、後のやり取りの中で、実はそのスタッフが2018年に現地を訪問した際に幼い日の彼女に出会っていたことが分かりました。当時12歳だった彼女はその時も、華麗なステップとあふれんばかりの笑顔でダンスを披露してくれていたのです。その4年後、コロナ禍にありながらも、オンラインで成長した彼女とその素晴



ソロダンスを披露する少女

らしい踊りに再び巡り会うことができ、企画をしたスタッフも感動と喜びで胸がいっぱいになりました。

ツアー参加者からは次のような声が聞かれました。

- ・よく知らなかったインドという国について知り、興味を持った。
- ・コロナ禍で外国に行くことが難しい状況が続く中で、現地の人々と同じ時間を過ごし言葉を交わすことができてよかった。
- ・普段寄付をしている少女たちが実際にどんな姿で、どんな場所で、どんな勉強をしているのか知ることができてとても良い機会だった。
- ・育児や介護で家を離れることができなかったも、オンラインで気軽に参加することができてよかった。

JELAとしても、LWSITの働きを知り、その支援を受ける人々との交流を通して、同じくキリスト教主義に立つ団体として大いに励まされると同時に、背筋が伸びるようなツアーとなりました。

「キリストの愛をもって、世界と日本の助けを必要とする人々に仕える」というJELAのテーマを今一度思い起こして働いていきたいと、改めて強く思われた2日間でした。

JELAでは、今後の社会に仕え担っていく若者の育成を目的に、アメリカやカンボジアそしてインドなどを訪問し、現地の人々との交流やボランティア活動を通して心身の育成を図る「ワークキャンプ」を毎年開催しています。今年は初の国内ワークキャンプを開催します。募集も開始（本紙P2～3参照）しましたので、ぜひご検討ください。



ツアー参加者の集合写真



LWSITが用意したバナー

パナソニックからカンボジアへ1050台のソーラーランタン 貧困解消のためにJELAと協働

JELAの世界の子ども支援事業のために、パナソニック株式会社から1050台のソーラーランタンの寄付をいただきました。ソーラーランタンは、カンボジアにおけるJELAの現地パートナー団体、Life with Dignity（＝LWD、意味「尊厳ある生活」）を通して、無電化地域の農村の人々の生活向上のために役立てられます。

ソーラーランタンは、昨年12月22日に大阪港から出荷され、今年3月25日に無事に税関手続きが完了しました。4月にはLWDのプロノンペン事務所に届き、無電化地域の農村の子どもた

ちがいる家庭に届けられます。

現在、パナソニックは無電化地域の未来を照らすプロジェクト「LIGHT UP THE FUTURE」として、世界各地にソーラーランタンを届ける活動を展開しています。あかりは子どもたちに夜間も勉強できる環境を与え、貧困のない将来への希望を与えます。あかりは世界から貧困をなくせるはず。パナソニック創業者、松下幸之助氏のそのような思いを受け継ぐ気持ちで、JELAはパナソニック、LWDとともにカンボジアの貧困解消に努めています。



パナソニック製ソーラーランタン

皆様からの手作りマスクが 支援先に届いています！

2021年9月2日から支援者の皆様に手作りのマスクのご支援を募り、3,000枚を超えるマスクを多くの方か



らご寄付いただきました。心から感謝申し上げます。コロナ禍による海外郵便の制約があるため、少しずつ支援先にお届けしています。

昨年末にはアフリカのガーナへ600枚、今年2月にはインドへ200枚の手作りマスクを送りました。

今後もアジア、アフリカの支援先にも皆さまからご寄付いただいた手作りマスクを届けて参ります。手作りマスクにご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。



▲ガーナ



▼インド

株式会社LIFULL様からJELAハウスに助成金 全12部屋を環境改善

JELAが難民や難民認定申請中の方に無償で提供している難民シェルター「JELA（ジェラ）ハウス」は都内に二棟あります。その内の一棟が、株式会社LIFULL（ライフフル）の「2021年度LIFULL寄付プログラム」（協力：公益社団法人日本フィランソロピー協会）の助成対象となりました。

株式会社LIFULLには、誰一人取り残すことなく一人ひとりの“したい暮らし”を応援するために、ドメスティックバイオレンスを受けている人々、虐待を受けている人々、難民、貧困により住生活に困っている人々を支援する団体に寄付するプログラムがあります。今回はJELAをお選びくだ

さいました。

今回の助成金を受けて、JELAハウスの換気扇とエアコンを全室（12部屋分）入れ替える修繕工事を実施しました。

換気扇とエアコンはシェルターの竣工当時から使っているもので、いずれも耐用年数の10年を超えており、油によるモーターの不具合や異音が発生するなどトラブルが出ていました。今回の修繕実施により、各部屋の環境が大きく改善されました。

JELAハウスの修繕のためにご支援くださった株式会社LIFULLの皆さま、公益社団法人日本フィランソロピー協会の皆さまに心より感謝申し上げます。



助成対象となったJELAハウス



交換されたエアコンと換気扇

（COVID-19）オミクロン株流行に伴う入国規制という壁にぶつかりました。人道的配慮で入国は認めてくれるのですが、来日後2週間の自主隔離を行わねばならないのです。自主隔離ができる宿舎を色々探しました。9人家族が一緒に外出せず過ごせる場所です。

そのような時、義母藤井禮子が伝手（つて）をたどって探してきてくれたのがJELAハウスでした。福音ルーテルで洗礼を受け40年以上になり、かつ教会生活も普通に行ってきたにもかかわらず、JELAの活動のことを全く知らなかったことを恥ずかしく思いました。一緒にNA支援を行っている元同僚に話すと、90年代、外務省はJELAに大変お世話になっていたというではありませんか。元外務省員としても恥ずかしい限りです。

JELAハウスは難民シェルターとしての建てられたものですが、退避アフガン人のように緊急に来日する外国人にとっての一時滞在場所として大きな意義を持つものと思います。退避アフガン人は、まだ何百人も来日する可能性があります。また、政府は、ウクライナからの避難民も日本に受け入れることを決定しました。NA一家の滞在を前例として、これからは人道上的理由で日本に退避してくる外国人の受け入れをJELAハウスが担ってくださることを心からお願ひいたします。

JELAオンライン・チャリティコンサート2021～22 総再生回数3,000回以上に！



松井花枝さん（ピアノ）



月下愛実さん（ソプラノ）



加藤麻衣子さん（パイプオルガン）



スティーブ・サックスさん（サックス）



ラ・メル（フルート&ピアノ）



HanaWuta（ボーカル&ギター）

JELAは新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響下における新しい取り組みとして、2020年の年末からYouTubeを使ったオンライン・チャリティコンサートを実施しています。今回で2回目となるオンライン・チャリティコンサートには計6組のアーティストが参加してくださり、素晴らしい演奏を披露してくださいました。

本誌編集（3月23日）時点の動画再生回数は3,092回となっており、チャリ

ティコンサート動画視聴者からも多くのご寄付をいただきました。オンライン・チャリティコンサートの動画は、アーカイブとしてJELA公式YouTubeチャンネルでご覧いただけます。

JELAのYouTubeチャンネルのチャンネル登録をよろしくお願いいたします。JELAでは今後音楽だけでなく様々な動画を配信していく予定です。引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。

JELA公式YouTubeチャンネル

YouTubeで検索

JELA チャンネル

または

QRコードを読み込み



リラ・プレカリアのキャロル・サック宣教師 「詩編との出会い」の動画撮影を実施

JELAでは新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大を受けて、この時代にこそ祈りや癒やしが必要であると感じ、リラ・プレカリア（祈りのたて琴）研修講座ディレクターのキャロル・サック宣教師と共に「詩編との出会い」というプログラムの動画を撮影して公開することにしました。

「詩編との出会い」は、2018年に米国のシオン・ルーテル教会（ELCA）から支援を受けて開始したリトリート・プログラムです。コロナ禍にあって、会場でのリトリートの実施が困難なことからシオン・ルーテル教会の許可を得て動画を撮影するこ

ととなりました。当日の撮影は、プロのカメラマンらスタッフ4名が集い、2月25日にJELAミッションセンターホールで行われました。

収録はリハーサルを含め12時間に及びましたが、キャロル宣教師の熱意により最善のものを収められたと思います。現在撮影した動画の編集を行なっています。

今夏には聖書的価値観に基づいたキャロル宣教師のハーブと歌の祈り時を皆さんにお届けできるかと思います。動画公開の進捗状況などは、本紙やJELAホームページ、ブログで発信して参ります。楽しみにお待ちしております。



プログラム収録の様子



いつもJELAの公益事業をおぼえ、尊いお祈りとご寄付を頂き誠にありがとうございます。皆様から頂きました寄付金について上図のとおりご報告申し上げます。

2021年度、JELAは皆様からのご寄付に弊財団からの支出を加え、以下の事業を支援・運営いたしました。

- ・コルカタ貧困地域の女児救済支援 (インド)
- ・学校建築支援 (カンボジア)
- ・パナソニック株式会社と協働しソーラーランタン送付 (カンボジア)
- ・チャリティコンサート運営 (オンライン)
- ・次世代リーダー育成のための給付型奨学金支給 (日本)
- ・難民対象奨学金支給 (日本)
- ・難民シェルター運営 (日本・都内2か所)
- ・新型コロナウイルス対策支援 (インド)
- ・ハリケーン災害支援 (米国)
- ・大地震による被災者支援 (ハイチ)
- ・野宿者支援(給食) (日本)
- ・豪雨被災者支援 (日本)

※2021年度に頂きましたご寄付のうち、436,356円(世界の子ども支援396,356円、奉仕者育成〔ワークキャンプ〕40,000円)は次年度へ繰越となります。2022年以降実施する事業において大切に用いさせていただきます。

JELA事業内容をより充実させ、継続的な支援を可能にするために、2022年も皆様にお祈り・ご寄付によるご支援をよろしくお願いいたします。

Follow us!



@jela.workcamp



@jelamission



@jelamission



@431dlncf



国連で合意された17のグローバル世界共通の目標をSDGs(Sustainable Development Goals:エスディー・ジーズ)といいます。JELAはSDGsに賛同し、よりよい国際社会の実現に貢献しています。

JELAの活動にご支援を！
各種献金のご送金は下記をご利用ください。



ホームページからクレジットカードでご寄付いただけます！

支援者一覧

(2021年10月1日～2022年1月31日)

(順不同・敬称略)

青木孝士/秋吉英理子/浅野圭佑/阿部光成/安藤淑子/池田哲也/石田宏美/井上新/井上秀樹/岩越優子/遠藤邦子/太田立男/大塚真佐子/大嶺愛持・裸覇武・十六夜/緒方仁美/小椋純子/方波見愛/勝部久子/加藤祥子/加藤三枝子/金子佐年/北川勝弘/木村富久子/京谷信代/ケイ恵子/河野精一郎/河野美千子/小暮修也/小松由美/小丸吉展/白井恵子/新角房子/深川育子/深谷昭治/杉浦りえ/杉山美紀子/鈴木米子/竹淵三和子/立山久美子/田中美紗子/俵哲/辻裕子/寺澤陽子/戸谷織江/鳥飼勝隆/中嶌裕一/中嶌裕吉/中西須美/長村光造/中山純郎/仲吉智子/那須幸/西垣親子/西村久仁子/野上きよみ/野口久志/野田マサ子/芳賀美江/蓮香隆夫/東牧子/平山新/深澤理香/藤井禮子/藤野みち子/藤原薫/古屋四朗/保浦晴也/保坂和子/星野幸子/細馬晶子/益田直人/松浦由佳子/松木順/光延和賀子/南谷なほみ/村上裕子/森保宏/森田哲史/矢嶋篤子/安田やまと/安みぎわ/山之内正俊/山口敏子/山口初子/山田美恵子/山本了/若原奇美子/青山学院大学系属浦和ルーテル学院小・中・高等学校/学九州ルーテル学院/公財)日本フロンティア協会/学佐賀ルーテル学院唐津ルーテル子ども園/パナソニック株式会社/(福)ベタヤホーム/奈多愛育園/認定こども園九州学院みどり幼稚園/認定こども園玉名ルーテル幼稚園/認定こども園ルーテル学院幼稚園/㈱LIFULL/学ルーテル学院大学/日本ルーテル教団飯能ルーテル教会/JELC市ヶ谷教会/JELC市ヶ谷教会青年会/JELC大分教会/JELC大岡山教会学校/JELC蒲田教会女性の会/JELC甲府教会/JELC下関教会シャローム会/JELC女性会連盟/JELC玉名教会/JELC富士教会/JELC保谷教会

ご支援ありがとうございます。

匿名をご希望の場合は、ご送金の際にお知らせ下さい。

編集後記

オンラインで人同士が繋がることはすでに「ニューノーマル」と呼ばれなくなったし、この言葉自体もはや死語かもしれません。最速で消えていった流行語の一つとして「ニュー」という響きがもつ皮肉に思わず苦笑します。JELAにとってこの2年間は、もちろんアフターコロナに向けた種まき期間でもありましたが、ひたすらに新しいことを試行する時期でもありました。まるで、新しいワインが新しい革袋をはちぎればかりにしながら発酵を進めているように。聖書は、モーセの律法の伝統的解釈の中にイエスの愛の律法を納められないことを新しいワインと新しい革袋の例で説明しています。内的発酵を経験する組織もまた、はじけるような勢いを失速させない、柔軟で丈夫な新しい革袋を自らを保つ場所とする必要があるように思います。本紙でご紹介した活動の数々が、さらに新しい化学反応を経験しながらより良いものへと変化し続けることを夢見ています。(渡辺薫)

JELA
キリストの愛で 隣人に仕える

一般財団法人 JELA

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-26
TEL:03-3447-1521 FAX:03-3447-1523
EMAIL:jela@jela.or.jp WEBSITE:www.jela.or.jp
郵便振替口座番号:00140-0-669206
加入者名:一般財団法人JELA